

第1号被保険者の状況

（資料2-1：P1～3）

- 第1号被保険者数は、全国では横ばいにあるが、本市では減少傾向にある。
 - ・第1号被保険者数 669,330人（令和8年3月末） 昨年比 ▲1,444人
 - ・高齢化率 24.6%（令和8年4月1日）
- 後期高齢者の割合は、全国を上回っている。
 - ・本市 60.3% 全国 59.2%（令和8年3月末）
- 本市では、市町村民税非課税世帯の被保険者が多い。
 - ・保険料第1段階から第4段階までの非課税世帯割合
本市 47.3%（令和8年3月末） 全国 33.8%（令和5年3月末）
 - ・ただし、課税世帯となる7段階以上の構成割合が増加している
R6 7-15段階 34.4% R7 7-15段階 35.4% R8 7-15段階 37.2%

要介護認定者の状況

（資料資料2-1：P4～6）

- 要介護認定者数は本市・全国ともに増加している。
- 本市の認定率は全国を大きく上回っている。
 - ・認定者数 194,896人（令和8年3月末）
 - ・認定率 本市 28.6% 全国 20.2%（令和8年3月末）

[介護保険料が高い要因について]

- 第9期介護保険料基準額 本市 9,249円 全国 6,225円
- 本市は、高齢者世帯に占める単独世帯の割合が全国に比べ高い。
 - ・本市 45.0% 全国 29.6%（令和2年国勢調査）
 - 単独世帯は認定率が高い。
 - ・本市の認定率 単独世帯 39.7%
（令和8年3月末） 二人以上世帯 19.1%
 - これらのことにより、本市の認定率は全国に比べ高くなっている。
 - 被保険者1人当たりのサービス費用月額、認定者数が多いため、全国より高くなっている。
 - ・本市 42,129円 全国 28,340円（令和8年1月）

サービス利用・給付費の状況

（資料2-1：P7～16）

- 本市は全国と比較すると、居宅サービスの利用者の割合が高い。
 - ・本市 74.9% 全国 70.0%（令和8年1月）
- 本市は全国と比較すると、保険給付費に占める訪問介護の割合が高い。
 - ・本市 26.6% 全国 10.4%（令和8年1月）
- 介護サービス受給者1人当たりの費用額は、全ての要介護度において、全国より本市が低くなっている。
- 本市、全国とも保険給付費は増加傾向にある。

介護保険事業所・施設の状況

（資料2-1：P17～18）

- 訪問介護や訪問看護の事業所数が継続して増加しており、特に訪問看護で伸びが大きい。
 - ・訪問介護 2,672か所（令和8年4月） 令和5年4月の約1.1倍
 - ・訪問看護 962か所（ // ） // 約1.3倍

地域支援事業の状況

（資料2-1：P21～25）

- （サービス・活動事業）
 - 介護予防型訪問サービスは、前年度より大きく減少し、生活援助型訪問サービスは横ばいのまま推移している。

介護予防訪問サービス	令和6年 48,744件	→	令和7年 37,299件
生活援助型訪問サービス	令和6年 129,027件	→	令和7年 129,141件
- （包括的支援事業）
 - 地域包括支援センターでの、高齢者の総合相談支援業務・権利擁護業務における相談件数は、前年度より増加している。

保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金の状況

（資料2-1：P26）

- 両交付金とも、取組状況を評価する目標においては、得点に繋がっているが、要介護認定の推移を評価する目標では、ひとり暮らし高齢者が多く、認定率の高い本市の状況は、得点に繋がりにくい傾向にある。